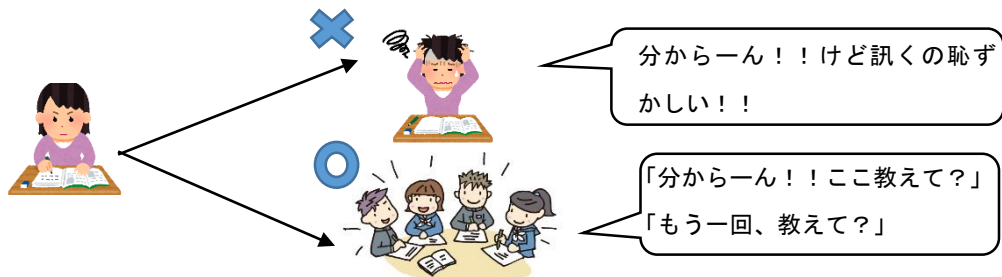


▼先日、1年生が3年生の授業参観した時の紹介をしました。返信の中で、ご質問を2点いただきましたので、Q&A方式でお話いたします。ありがとうございました。

Q1 先日の参観日でのグループ学習で活発な意見交換はあまりなかったように見えました。素朴な疑問ですが、必ず全員が発言する仕組みになっているのでしょうか？



・全員が発言する(しやすい)仕組みとして、工夫している点として、授業の中でグループで学ぶ時間をとることを行っています。
 ・まず、発言を通じてコミュニケーション(人に説明したり、分からないところを訊いたりする)をとることで、聞くだけよりも、脳に学んだことが定着しやすいことが心理学の研究でも明らかになっています。また、全体に分からないことを訊くのは勇気がいりますよね?多くの生徒が下図のよう一人で学び「分からない」と言えず、学習が苦手になってしまうことを防ぐために、少人数グループで学ぶ時間を設け、積極的に意見を伝えたり、分からないことを人に訊いたりすることができるようにしています。



・グループを活用した学習はあくまでも、個人の学びを深める(分からないことをすぐ訊いて理解したり、自分の考えをまとめたりする)手段であって、グループで意見を1つにまとめ、話すことが目的ではありません。そのため、必ず発言することを約束してはなりません。「学びあい」学習では、意見を発表し合う中で、個々の意見の違いを認め合い、互いの意見を聴き合って、自分自身に新たな考えや気づきが生まれることを大切にしています。
 ・ところで、南海中では「聞くこと:音や声が耳に入るの意」ではなく、「聴くこと:理解しようと耳を傾けるの意」、「訊くこと:尋ねるの意」に重点を置いています。研究だより等でもあえて使い分けています。

Q (グループ活動で)司会進行役を決めているのか、いないのか知りたいです。



・司会進行役は原則、決めていません。
 ・話を進める人、話を聴く人というように役割が常にならなくなると、話さなくてもいいやと思ったり、聴くだけでいいやと思ってしまうことがあるからです。それによって、全員に「あっ、分かった!」という学びが起こらなくなってしまうからです。「学びあい」学習では、誰もが平等に分からないことを質問したり、分かったことを説明して理解を深めたりすることを目指しているために、あえて役割を決めていません。基本的には、分からないときに「分からない、教えて」と言って、自分から訊くことを推奨しています。



▼今回質問をしていただいたように南海中では、生徒が授業の中で分からないことや疑問などがあれば、全員が授業に参加して、なかまの力を借りながら、「わかる」をめざす「学び合い」をめざしています。今回の質問によって、改めて大切なポイントを確認することができました。ありがとうございました(^^)